

私は何かを与えたら何かをもらいたいという考えをしてしまいがちです。それではだめだと（公社）川越青年会議所に所属させていただくことで認識させられました。常に感謝の気持ちを忘れず、（公社）川越青年会議所で学んだことをこれからの人生に活かし、現役メンバーや会社、家族、そして未来ある子どもたちに少しでも恩返しできるよう、これからも精進してまいります。本当にありがとうございました。

## 渡邊 昌宏



入会年月：2016年10月  
入会番号：707号

（公社）川越青年会議所に入会させていただき、約7年間の月日が経過しました。初めて参加した例会では、監事講評で皆に激怒している。とにかく来て！と言われた集まりでは朝の4時まで帰りに帰れず。私の住んでいるこの地域のために、こんなにも熱い人たちがいるんだ！と勘違いしたのを思い出します。それから月日が経ち、気付きました。激怒したのも、朝の4時まで残り続けたのも、自分のことは置いて、メンバーの成長のために厳しい道を選択したのです。こんなにも他者のことを自分のこと以上に思われる人々を他に知りません。

私の様な若輩者でも卒業まで進んできたのは、そんな皆様の支えがあったからに他なりません。もしかしたら、私も誰かを支えている一人になれたのかな。

最後に数々の学びと経験をくださったことに感謝を申し上げますと同時に、今後は地域に還元していくことをお約束しご挨拶とさせていただきます。誠に有難うございました。

## Information

◆1月例会 1月定期総会・新年懇親会

日時：2023年1月11日（水）

<定期総会>

登録・受付：16:30 開会：17:00 閉会：18:20

会場：ラ・ポア・ラクテ 4Fベガ

<新年懇親会>

開会：19:00 閉会：21:00

会場：ラ・ポア・ラクテ 4Fベガ・2Fビーナス

来る2023年1月11日（水）、ラ・ポア・ラクテ4Fベガにおきまして1月例会1月定期総会を総務委員会担当のもと開催いたします。（公社）川越青年会議所の最高意思決定機関であり、2023年度一番初めの例会でもあります1月定期総会にて、1年間の活動をしていくうえで必要となる重要な議案をLOMメンバーの皆様へ承認いただくことで、規律と秩序を保ちながら夢を語り合える組織にするための士気を高め、これからの活動に弾みをつける機会となります。LOMメンバーの皆様には開会時からのご出席をお願いします。その後、4Fベガ・2Fビーナスの会場にて新年懇親会を開催いたします。2023年度は、感染症対策と交流を両立させるため、各委員会がローテーションにてご挨拶とお酌に伺う形式としています。新年懇親会にて（公社）川越青年会議所2023年度体制を対外諸団体へお披露目させていただき、LOMメンバーが来賓・OB会員・協賛会員・来訪JCの方々へ感謝の気持ちを表し、

同じ時間を共有させていただくことにより関係を紡ぎ、新年のお祝いのお場とさせていただきます。

1月例会定期総会、新年懇親会は、諸先輩方が築き上げてきた歴史を感じることができる例会です。LOMメンバーが胸を張って誇りを持つ会となるよう、委員会メンバー同一丸となって取り組んでまいります。皆様のご参加を心よりお待ちしております。何卒よろしくお願い申し上げます。

2023年度総務委員長予定者 堀籠 重臣

## 理事会報告

◆第12回理事会

日時：2022年12月9日（金）19時00分～20時00分

会場：川越商工会議所 2階 会議室

議案

第1号議案 2023年度事業計画（案）に関する件

第2号議案 2023年度収支予算計画（案）に関する件

全議案とも、原案通り可決承認されました。

出席理事：17名中16名

## 仮入会者紹介

城山 優希（シロヤマ ユウキ）

事業所：鮎 志摩

事業内容：飲食業

事業所住所：埼玉県鶴ヶ島市富士見1-18-28 301号



卒業生を代表して海老田勲君による代表答辞



12月定期総会にて

2022年度最後の理事長挨拶を行う渋谷理事長

公益社団法人川越青年会議所 広報 the Voice of JC 2022年12月号

発行：公益社団法人川越青年会議所 2022年度理事長 渋谷 巧

〒350-8510 埼玉県川越市仲町1-12

tel: 049-229-1810 e-mail: info@kawagoejc.com https://www.kawagoejc.com/

編集：総務委員会 印刷：株式会社クワイワン



# the Voice of JC 2022.12

公益社団法人川越青年会議所 広報  
第52巻第12号（年12回発行）  
2022年 12月30日発行

## 一年間を振り返って

2022年度はスローガンに「若者よ勇敢に突き進め！俺らが進む一本道！」、キーワードに「勇敢」を掲げさせていただき、未曾有の疫病の蔓延により、昨日までの常識が通用しなくなった世の中において、賛否がおきようとも勇敢に時代を牽引できる人づくりや、組織づくりを念頭におき、まちにかつて以上の活気を醸成するべく、運動展開をしてまいりました。ここに一年間の軌跡を記させていただきます。

ひとづくりにおいては、メンバーには未来の社会環境を見通す力をつけ、デジタル化が進む社会に対応できる青年経済人になっていただくために、デジタルリテラシー向上を目的として、前デジタル副大臣兼内閣府副大臣の小林史明様に、デジタル化社会を恐れず勇敢に立ち向かうべき極意を講演していただきました。その後、「KAWAGOE DX EXPO 2022」と題して埼玉トヨタ自動車様をはじめ多くの企業様にご協力いただき、一般市民参加型のDX体験型事業を開催いたしました。また、未来の担い手である青少年の社会に対する思考を把握するために1705名の学生を対象とした大規模アンケートを執り行い、その調査結果から不安要素を抽出し、社会が助け合いの仕組みで成り立っている安心感を学ぶことで、より勇気を持つ人財に育てただけであるかと仮説をたて、社会保障をゲーム形式で学ぶ事業などを行いました。

まちづくりにおいては、コロナ渦によって、まちと触れ合う機会を通じて深めてきた人びとの交流が減少している事を課題提起し、多様なまちの姿を伝え、まちを愛する心を醸成することを目的に「KAWAGOE SUNRISE 2022」と題したメイン事業を開催し、人を集めること自体に世の中の逆風があるなか、約5000名の参加者動員を達成しました。この事業は川越市の発行する広報の表紙に選ばれ、埼玉ブロック30LOMの中でも最優秀の褒章をいただくことができました。経営セミナーでは強い企業づくりの根幹ともいえる、企業の存在意義や社

会に対しての影響を学んでいただくべく、株式会社ユウグレナ代表取締役社長出雲充様をはじめとした複数の講師の皆様にご講演を賜り、自社の利益のみならず他者の利益を重んずる大切さを多くの参加者の皆様へ学んでいただくことができました。

組織づくりにおいては、組織を盤石にするためにも、このまちに多くの諸団体が存在しているなか、他に類を見ない価値と存在意義を明確にし、ともに成長できる環境をととのえるべく、会員拡大や会員開発に取り組んでまいりました。若いメンバーには主体的に事業の担当を担っていただくことで達成感や自己成長を感じていただき、将来LOMを牽引できるメンバーの育成に励みました。女性拡大にも力を注ぎ2022年12月現在では全メンバーの1割が女性メンバーという現状を達成することができました。会員拡大にご協力いただきました、先輩諸兄姉ならびにご関係者の皆様におかれましては、心より感謝申し上げます。また、組織の情報発信においては、より効果的な手法を用いた広報を実現するべく、「エキサイト広報」と称し、市民参加型の大規模事業を多数行い、参加者の方々にSNSで当団体の情報などを広く拡散していただく事に成功しました。なかでも霞ヶ関にて行った花火の打ち上げや、伊佐冒険の森で行ったキャンドルナイトは子育て層の親世代のなかで大きな話題となりました。

結びに、歴代最年少の若輩な私を最後までお支えいただき、62年目をともに乗り越えていただきました理事役員をはじめとする全てのメンバーの皆様、ご支援をいただきましたメンバーのご家族、事業所の皆様、多大なるご協力を賜りました川越市をはじめ諸団体の皆様、常に温かくお見守りいただきましたOB会員の皆様、ご協賛会員の皆様に心より感謝を申し上げ、理事長報告とさせていただきます。一年間誠にありがとうございました。

第62代理事長 渋谷 巧



12月例会に参加したメンバーで記念写真

## Report

### ◆目標を明確にする事業

日時：2022年10月1日（土）～12月3日（土）

会場：WEB上

担当：青少年開発委員会

去る10月1日（土）から12月3日（土）、目標を明確にする事業を青少年開発委員会のもとで行わせていただきました。目標を明確にする事業では「有言実行！目標を明確にする本気の叫び！」をテーマとし、子どもたちが明確な目標を自らに落とし込む事を目的として行わせていただきました。まず初めに3月例会の調査から導き出した「親と先生以外の大人たちと将来の相談をする機会が少ない」という問題を解決すべく、参加者とLOMメンバーで個別に相談する機会をWEB上で設営いたしました。それにより、心の内側に秘めている将来への想いを明確なものとし、自らに認識していただきました。その後、川越市内の各所に導き出された目標を叫んでいただくことにより、明確な目標を自らに落とし込んでいただきました。その後、インタビューを行うことにより事業の検証の機会にするとともに、参加者にとっては想いが深まるパートとしても効果的であったと思います。そしてこの一連の流れを動画として撮影及び編集し、WEB上に公開をさせていただき、不特定多数の方が閲覧できる状態にすることで、将来もぶれずに勇敢に挑戦し続ける気持ちが育まれたことと確信しております。

しかしながら、当初予定していたスケジュール通りに事業を進めることができず、事前の準備不足が顕著に見られた事業となりました。こちらの点に関しましては委員会にてしっかりと検証し次年度以降に申し送りをしていきたいと思っております。青少年開発委員会メンバー一同、2022年度最終最後まで委員会活動を全うしてまいります。

青少年開発委員長 渡邊 昌宏



事業参加者に心の内側に秘めている将来への想いや目標を叫んでいただき目標を明確にさせていただきました

## Report

### ◆11月第二例会

テーマ：振り返ろう！伝えよう！俺らが進んだ一本道！！

日時：11月24日（木）

開会：18：30

閉会：21：27

会場：川越南文化会館（ジョイフル） 会議室1・2

去る11月24日（木）、11月第二例会を副専務理事担当のもと上記の通り開催させていただきました。

本例会では、副専務理事として渋谷理事長が所信に掲げた「勇敢な人づくり」、「勇敢なまちづくり」、「勇敢な組織づくり」という担いを達成できるよう下支えをし、より強固で磐石なLOMをメンバーともに創造する必要がある。といった背景のもと、『振り返ろう！伝えよう！俺らが進んだ一本道！！』というテーマを掲げ、今年度（公社）川越青年会議所が行ってきた活動を各委員会が振り返り、どのような効果や結果をもたらしたかなど様々な側面から検証し、メンバーの皆様と共有していくことを目的として、準備段階から各委員会のメンバーに資料作成、プレゼン発表準備をしっかりと行っていました。

そして例会当日に検証の結果を活動の報告としてプレゼン形式で発表していただき、参加していただいたメンバーに共有することで事業がもたらす効果の明確化を図ることができ、より強固で磐石な組織の創造に繋がるような機会とすることができたと感じております。

また、参加できなかったメンバーにも同様の効果を感じていただくために、デジタル化した資料を配信させていただき、各委員会の1年間の活動報告を共有させていただきました。

しかしながら、設営の不備など皆様大変ご迷惑をおかけしてしまいました。しっかりと原因を検証し、この経験を糧に残りの活動に精一杯精進してまいります。

当日ご参加くださいました（公社）川越青年会議所OB会会長松山潤様をはじめとするOB会の皆様にも感謝を申し上げます。いただき、例会報告とさせていただきます。本当にありがとうございました。

出席率 74.4%  
副専務理事 波田 泰明



各委員会ごとに1年間の活動の振り返りを行い活動の効果・結果の検証を行いました

## Information

### ◆会員チャレンジ事業

日時：2022年12月1日（木）

開会：9：00

閉会：14：00

会場：ウェスタ川越 交流広場

担当：会員開発拡大委員会

## 古屋由里香



入会年月日 2019年6月

会員番号：737号

入会させていただいてから3年と6ヶ月。私自身としては短いJCライフでしたが多くのメンバーと交流し、活動をしてまいりました。本年度は会員開発拡大委員会の委員長という役職を渋谷理事長からいただきました。一年間走り続け、時には心折れそうな時期もありましたが最後までやり遂げることが出来ました。支えていただいたメンバーには本当に感謝しております。

私は生まれも育ちも川越というわけではなく、そもそも日本生まれではありません。

言葉や文化の違いで中々会議体になじめなかったこともありまして。12月を迎え卒業と思うとまだまだやり残したことがたくさん思い起こされます。

これからも公益社団法人川越青年会議所で経験して学んだことを大事にし、企業として、個人として違う形でお手伝いさせていただければ幸いです。

本当にお世話になりました。

*Muchas gracias por la paciencia. Para lograr el éxito solo se necesita perseverancia.*

## 増村 隆則



入会年月：2020年7月

入会番号：742号

（公社）川越青年会議所に入会させていただいてから2年5ヶ月。短い期間でしたが多くの出会いと体験をさせていただいたこと、なにより入会1ヶ月で次年度の委員長を仰せつかるということでもチャレンジなJC活動を送らせていただいたことには大変感謝しております。

青年会議所の魅力は、利害関係のない志を同じくする仲間とともにチャレンジできる場があることだと思います。私自身、新しいチャレンジをすることで新しい出来事に出会い、仲間とともに切磋琢磨し成長することができたと感じております。充実した時間を過ごすことができたのも多くの方々に支えていただき、協力していただいたからこそだと思っております。（公社）川越青年会議所で過ごした時間は、私の人生においてかけがえのない1ページとなりました。

現役メンバーの皆様には是非とも飽くなき挑戦を繰り返し、自らの人生に誇りを持ち、恩返しや感謝の気持ちを持って、世のため人のため未来のために尽くしていただければと思います。その先には必ずや明るい豊かな社会が待っているとそう信じております。

最後に、これまで関わっていただきました皆様に心から御礼申し上げます。本当にありがとうございました。

## 源 直樹



入会年月：2005年11月

入会番号：547号

私の人生はJCとともに歩んできました。この度卒業をすることができたのは支えてくれた皆様のおかげだと思います。在籍中で退会届は過去に8回出しましたが一度も受理されることなく怖い団体だと思いました。今は良い思い出となり、心から皆様に感謝を申し上げます。無理やり出すよう要求され出した一回以外は。私が学んだJCは過去の栄光をひきらず常に前を向いて歩く事を学びました。人は人の不幸が大好きであり、その面が如実に出る人間劇場の側面をJCは持っております。近年では隣を気にするような事業が増え本来の青年として切磋琢磨された荒々しい事業は少なくなりました。失敗してよい団体から失敗したら最後という団体へと変化していったのも周囲の干渉が多いに影響しているのだと卒業を機に感じるようになりました。その干渉弾圧から守ってあげられなかったことは心残りではありますが優秀な後輩たちがこの団体の存続も含めて議論をしていくと思います。いつの時代も若者は悩み自分なりの正義を見つけ突き進んできたと思います。JCしかない時代からJCもある時代に変化してきた今だからこそ何を求められているのかを現役が考えていかないと必要とされる団体へはなれません。これだと信じたなら突き進み、間違えたら正せば良いと思います。

卒業を前に40歳はおじさんと思ってきました。今は40歳からが本番だと思えるようになりました。これもJCで学んできたこと結果なのかなと思います。18年間所属できたことは決して私が頑張ったからではなく、周囲の支えがあったからであり今はその方々に恩返しができるよう再スタートという気持ちで卒業いたします。皆様大変お世話になりました。ありがとうございました。

## 吉武 誠一



入会年月：2017年12月

入会番号：723号

2017年に入会させていただいてから5年の月日が流れました。（公社）川越青年会議所諸先輩の皆様、現役メンバーの皆様、川越市をはじめ関係諸団体の皆様と時間をともにできたこと、心から感謝御礼を申し上げます。

入会の目的は仲間をつくること、地元をつくること、そして奉仕のこころをつくることでした。事業活動を通して、多くの仲間ができたこと、奉仕の大切さを学べたことに感謝いたします。

また、会員開発委員会の時につくった演劇用の台本、同期入会がつぎつぎに委員長になったり、理事になったりする姿、そして、奉仕修練友情を大事にする団体としての風土、わたしにとっての刺激となりました。川越生まれでもなく川越育ちでもなく、親の都合で転居が多く、地元と呼べる場所がない私を仲間として受け入れていただいたこと、本当にうれしかったです。

去る12月1日（木）、会員開発拡大委員会では「みんなで祝おう川越市制100周年！～#おめでと川越～」をテーマとして会員チャレンジ事業を開催いたしました。

本事業は川越青年会議所が、強固な組織として歴史を重ね活動を続けていくためにはメンバーと集まった仲間と協力し合い、経験を積むこととともに成長していかなければなりません。そのためには、若いメンバーと経験豊かなメンバーとともに事業構築を行うことが必要でした。

目標に向かいチャレンジすることを通じて、勇敢に突き進むことの大切さに気づいていただくことを目的とし、困惑する時代の中でも人びとが勇敢に突き進み、新型コロナウイルス拡大で失われた時間と勇気を取り戻せるようメンバー一同事業を盛り上げました。

当日は川越市市制100周年記念式典も開催されることから大勢の来場者が参加されました。会員開発拡大委員会では324名の参加者にうどんを提供することができました。

皆様のご協力のもと「#おめでと川越」と投稿していただき市制施行100周年を盛大にお祝いすることができました。ツイートいただいた参加者にはチラシや風景、うどんの写真などアップしていただき、またたくさんのお祝いのお言葉も投稿されていました。

この事業で最後までやり遂げる力を身につけ、勇敢な人財に成長し強い組織へと繋がったと確信しております。また来場者にも（公社）川越青年会議所の魅力、素晴らしさを感じていただきまちづくりへの意識の醸成や活動を理解していただいたと思います。

しかしながら設営面では至らなかった部分もありました。反省点を活かしてしっかりと2022年度最終最後まで活動を続けてまいります。ご参加いただいた皆様、本当にありがとうございました。

会員開発拡大委員長 古屋由里香



当日は若いメンバーと経験豊富なメンバーが一丸となって事業を行いました



324名の参加者の皆様にうどんを提供することができました

## 飯沼 悠介



入会年月：2014年4月  
入会番号：653号

OBである私の父から入会を勧められ2014年に入会させていただき、約9年間本当にありがとうございました。多くの役職やたくさんの経験や学び、そしてメンバーの皆様、ご卒業された先輩の皆様と多くの出会いをさせていただきました。大切な皆様方より温かいご支援やご指導をいただきましたこと感謝申し上げます。

地域や組織のため、朝方まで議論をしたり、例会・事業でメンバーとともに嬉し泣きや悔し泣きをしたり、様々な経験をさせていただきました。また、社会人としてのマナーや礼儀作法までも学ばせていただき、JCに入会していなかったら今頃どうなっていたのか全く想像もつきません。私をJCに導いていただいた父に、支えてくださいました皆様に心から感謝いたします。この経験や学びを活かし、自社の成長、次なるステージに全力を尽くしてまいります。

最後に、私を育てていただきました（公社）川越青年会議所、そして現役の大切な仲間たちを守り、さらに発展・成長できますよう今度は卒業生としてしっかりと支えていきます。

本当にありがとうございました。

## 海老田 勲



入会年月：2021年12月  
入会番号：775号

私は2021年12月入会で、1年間という本当に短い活動期間でしたが、メンバーに恵まれ、JCの活動を通じて、地域と社会のために貢献することの大切さを教えていただきました。

振り返ると、入会してから卒業まで時間がない中、何を学ぶことができるのかと少し焦るような気持ちが湧くこともありましたが、それでも限られた時間の中で、JCでの活動は得難い経験でした。コロナ禍で、活動が制限される状況の中、閉塞感を打ち破り、積極的にまちの人々を元気づけようとするメンバーの姿を見て勇気もらうことも多く、何より、事業では、参加していただいた方の笑顔が見られたことが、喜びとなりました。

現役メンバーの皆様は今後も積極的に参加していただき、更に、地域を盛り上げていただくことを期待しております。

最後に、川越市市制施行100周年という大きな節目の中で、活動に参加させていただき、関わらせていただきました全ての皆様に感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

## 小谷野和統



入会年月：2011年9月  
入会番号：616号

（公社）川越青年会議所を卒業するにあたり、まずは行政や関係諸団体、諸先輩方をはじめとする全ての方々、そして何よりメンバーの皆様へ心からの感謝と御礼を申し上げます。11年間という期間、青年会議所に所属させていただき、今の自分があるのは本当に皆様のおかげであります。本当にありがとうございました。

私はこれまでに委員長、副理事長、メイン事業実行委員長、そして理事長、更には出向をはじめ、本当に多くの貴重な機会をいただくことができました。これは間違いなくかけがえのないものとなり、私の人生において大きな財産となったのは揺るぎない事実でございます。卒業してからもこの青年会議所での経験を忘れず、様々なことにチャレンジしていき、大好きなまちのために少しでも恩返ししていければと考えております。これからも誠心誠意、頑張ってまいります。引き続き変わらぬご指導ご鞭撻を賜れば幸いです。何卒よろしくお願い申し上げます。

## 櫻井 良樹



入会年月：2021年1月  
入会番号：747号

2021年に入会させていただき、約2年間の活動期間でありました。短い期間でしたが（公社）川越青年会議所の先輩方や、現役メンバーの皆様に変えてお世話になりました。

濃い2年間を過ごさせていただき、たくさんの仲間と出会い、たくさんの経験を積みさせていただきました。

実際に加入してみてJCの印象は変わりました。まちに対する思いや考え方など、とても学びの多い時間を過ごさせていただきました。やはり、実際に行動することの大切さ、重要さを改めて感じさせていただきました。そして、いろいろな所でOBの方々とお話をさせていただく機会もあり、改めてたくさんの想いの詰まった団体なのだと感じました。

そんな団体が仲間と共に活動でき、かけがえのない時間を過ごさせていただきました。これからも皆さまのご活躍を期待しております。

最後に関わらせていただきました皆さまに心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

## 鈴木 貴恭



入会年月：2014年5月  
入会番号：658号

メンバーの皆様をはじめ、OB諸氏の皆様、関係諸団体の皆様、すべての方に心から感謝を申し上げます。

2014年に入会してから今を振り返ると、自分には青年会議所が務まるのか悩んでいた時期もありましたが、例会や事業に参加するごとに、マイナス思考で利己的だった考え方も、気付けば少しずつ変化が生まれていました。

そして、JCのことを考え、周りのことを思い、好きになると、家族のように大切に想える仲間や、心から信頼、尊敬できる先輩ができました。私にとってJCでの出会いと体験はかけがえのない宝物であり、物事の考え方を大きく変えてくれた大切な場所です。

入会当時の自分に一言だけ言えるとしたら「JCに入って良かった」と言います。これからは（公社）川越青年会議所の卒業生として、川越で事業所を営む個人として、和の想いを持ち自社の発展のため、川越のまちのために尽力していきたいと考えています。本当にありがとうございました。

## 高橋 正浩



入会年月：2014年3月  
入会番号：651号

今から9年前、現在も当社で尽力賜っている野澤正男先輩が、2013年12月に（公社）川越青年会議所をご卒業される代わりに、私は入会をしました。当時はまだ仮入会ですが、12月定期総会の厳かな雰囲気や先輩方の精練された所作に驚き、様々な経験ができる期待に胸を膨らませていました。

その後は、30歳を過ぎていたにもかかわらず多くの友人ができ、第50代埼玉ブロック協議会会長の笛木正司先輩についていく形で、埼玉ブロックの事務局長として様々な経験をさせていただきました。

その後も川越青年会議所で副理事長まで担わせていただき、関わった方々に喜んでもらえる事業を経験することができました。思い返せばそのすべては、青年会議所の後ろ盾があったからこそ経験できたことであつたと感じています。

卒業後は、自らの力で立ちし家族、会社、地域のために、しっかりと貢献できるよう頑張ってます。最後に、現役時代に支えていただいたすべての皆様にこの場をお借りして感謝を申し上げます。本当にありがとうございました。